

2021年5月11日

各 位

会 社 名 株式会社アジュバンコスメジャパン
代表者名 代表取締役会長兼社長 中村 豊
(コード: 4929 東証第1部)
問合せ先 取締役管理本部本部長 中川 秀男
(TEL 078-351-3136)

(訂正・数値データの訂正) 「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕 (連結)」の一部訂正について

2021年4月23日に公表いたしました「2021年3月期 決算短信〔日本基準〕 (連結)」の記載内容に一部訂正がありましたのでお知らせいたします。また、数値データにも訂正がありましたので、訂正後の数値データも送信いたします。

記

1. 訂正の内容と理由

2021年3月期決算短信発表後、当社の固定資産の減損処理の算定にあたり一部訂正すべき事項が判明いたしましたので、訂正するものであります。なお、この訂正により減損損失額は32,194千円増加し、43,253千円を特別損失に計上いたしました。

2. 訂正箇所

訂正箇所が多数に及ぶため、訂正後及び訂正前の全文を掲載し、訂正箇所には下線____を付して表示しております。

以上

【訂正後】

ADJUVANT



2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月23日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン
 コード番号 4929 URL https://www.adjuvant.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中村 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136
 定時株主総会開催予定日 2021年6月17日 配当支払開始予定日 2021年6月18日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月17日
 決算補足説明資料作成の有無：有 (録画配信：有)
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年3月21日～2021年3月20日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	4,885	4.5	292	—	325	—	142	—
2020年3月期	4,674	△9.5	△184	—	△157	—	△227	—

(注) 包括利益 2021年3月期 147百万円 (—%) 2020年3月期 △239百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	17.83	17.76	3.5	6.3	6.0
2020年3月期	△28.63	—	△5.3	△2.8	△4.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(注) 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,096	4,092	80.3	512.18
2020年3月期	5,250	4,123	78.5	517.83

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,092百万円 2020年3月期 4,123百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	403	△235	△169	1,469
2020年3月期	32	181	△220	1,472

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	191	—	4.4
2021年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	191	134.6	4.7
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00		382.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年3月21日～2022年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,050	△6.6	△31	—	△26	—	△34	—	△4.30
通期	4,517	△7.5	128	△56.0	138	△57.6	50	△64.8	6.28

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

除外 1社 (社名) 株式会社アジュバンコスメティック

(注) 詳細は、添付資料15頁「当連結会計年度における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	7,996,200株	2020年3月期	7,970,400株
2021年3月期	6,403株	2020年3月期	6,403株
2021年3月期	7,986,970株	2020年3月期	7,961,082株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年3月21日～2021年3月20日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	4,157	4.3	163	—	187	—	△253	—
2020年3月期	3,987	△13.0	△152	—	△98	—	△101	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△31.75	—
2020年3月期	△12.77	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年3月期	5,113	4,113	4,113	80.4	514.83			
2020年3月期	5,458	4,541	4,541	83.2	570.22			

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,113百万円 2020年3月期 4,541百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5頁「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2021年4月26日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算補足説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	15
(表示方法の変更)	15
(追加情報)	15
(セグメント情報)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費及び企業収益の悪化など厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後は、段階的に経済活動を再開しましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念されており、引き続き国内外の動向に留意が必要な状況です。

美容業界におきましても、上記の影響により消費活動や生活スタイルが変化したこともあり、スキンケア商品の需要が戻らず、サロン※注1経営において厳しい環境が続いており、当社商品を販売するアジュバンサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、2021年3月期の営業テーマを「顧客の創造・関係性の強化」とし、営業方針を「年間販促計画の策定と実行」「カウンセリングの知識・技術の習得」「アフターフォローの習慣化」「顧客分析の徹底」として掲げ、引き続きサロンの安定した経営サポートを目指しております。

新型コロナウイルス感染症の感染予防及び感染拡大防止に関しましては、当社が定めた「新型コロナウイルスに関する指針」を遵守し、感染拡大の防止に十分注意しながら営業活動に取り組んでおります。

研究開発活動におきましては2020年11月に国立研究開発法人理化学研究所との共同研究チームが、化粧品で利用されている特定の機能性ペプチドに毛髪促進効果を有することを学会にて発表いたしました。

売上高につきましては、スキンケア商品の需要の減少もありましたが新しいヘアケアブランドの投入効果もあり、当連結会計年度の売上高は4,885百万円（前期比4.5%増）となりました。詳細は区分別売上高の概要をご参照ください。なお、アジュバンサロン登録軒数につきましては、当連結会計年度末で8,396軒（前期末比601軒増）となりました。

利益面におきましては、新商品の投入効果による売上の増加及び人件費、旅費交通費等の減少、サロン様向けの全国イベント開催の延期による販促費の減少により、営業利益292百万円（前期は営業損失184百万円）、経常利益325百万円（前期は経常損失157百万円）となりました。第2四半期連結会計期間に特別損失として投資有価証券評価損100百万円を計上しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は142百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失227百万円）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	1,797	38.5	1,567	32.1	△229	△12.8
ヘアケア	2,327	49.8	2,725	55.8	397	17.1
その他	884	18.9	923	18.9	39	4.5
売上割戻金	△335	△7.2	△331	△6.8	4	—
合計	4,674	100.0	4,885	100.0	211	4.5

(注) 1. ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED（連結子会社）及びエクシードシステム株式会社の売上高は、「その他」に含んでおります。なお、当社は、2021年3月1日付で当社の連結子会社であるエクシードシステム株式会社の株式の一部を譲渡し、本株式譲渡の後、当社が保有するエクシードシステム株式会社の株式は議決権を持たない種類株式となりましたので、同社を連結子会社から除外しております。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は、次のとおりであります。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
国内売上高	4,438	95.0	4,686	95.9	247	5.6
海外売上高	235	5.0	199	4.1	△36	△15.4
合計	4,674	100.0	4,885	100.0	211	4.5

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、マスク着用の日常化、外出自粛によりスキンケア商品の需要が減少しており、全体的に前期を下回る結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,567百万円(前期比12.8%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、新商品である「KASUI(カスイ)」※注3の投入効果もあり、前期を上回る結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,725百万円(前期比17.1%増)となりました。

(その他)

エクシードシステム株式会社の売上高は、国内のサロンアンサーシステム※注4の導入件数が、当連結会計年度末において1,613件と堅調に推移した結果、増加いたしました。

ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)の海外売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い減少しております。

なお、エクシードシステム株式会社におきましては保有していた株式を一部譲渡いたしました結果、連結子会社から除外しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は923百万円(前期比4.5%増)となりました。

※注1「サロン」

理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等を指します。

※注2「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロンを指します。

※注3「KASUI(カスイ)」

国立研究開発法人理化学研究所との共同研究により機能性成分を見出し、その後当社にて処方した新ヘアケアブランドであります。

※注4「サロンアンサーシステム」

エクシードシステム株式会社が販売する、クラウド型経営サポート(サロンの顧客管理、経営分析)システムを指します。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して154百万円減少の5,096百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して24百万円減少の2,723百万円となりました。主な変動要因は、売掛金の減少69百万円、商品及び製品の減少12百万円、仕掛品の減少16百万円、前渡金等による流動資産のその他の増加76百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して130百万円減少の2,372百万円となりました。主な変動要因は、減損処理などによる投資有価証券の減少83百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して111百万円減少の547百万円となりました。主な変動要因は買掛金の減少28百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少17百万円、賞与引当金の減少13百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して11百万円減少の456百万円となりました。主な変動要因は、資産除去債務の減少6百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して31百万円減少の4,092百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する当期純利益による増加142百万円、配当金の支払による減少191百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.5%から80.3%となりました。1株当たり純資産額は、前連結会計年度末517.83円から512.18円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は営業活動で獲得した資金を主に子会社株式の売却による支出、配当金の支払等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて2百万円減少し、当連結会計年度末残高は1,469百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は403百万円(前期比370百万円増)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益181百万円の計上、減価償却費の計上110百万円、投資有価証券評価損の計上100百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は235百万円(前期は181百万円の収入)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出44百万円、無形固定資産の取得による支出40百万円、エクシードシステム株式会社の株式譲渡による連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出151百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は169百万円(前期比50百万円減)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出17百万円、配当金の支払額191百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	78.5	79.4	77.5	78.5	<u>80.3</u>
時価ベースの自己資本比率(%)	127.9	142.3	129.3	136.5	<u>179.0</u>
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.5	0.2	0.8	1.5	0.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

5. インタレスト・カバレッジ・レシオは、利息の支払額に重要性がないため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動停滞の影響により、先行き不透明な状況であることから、サロン経営にとっても厳しい環境が続くと予想されます。

2021年1月22日公表の「中期経営計画の取り下げに関するお知らせ」のとおり、中期経営計画を取り下げ、現在再策定中であります。その一環として2021年4月6日公表の「会社分割による持株会社体制への移行準備開始決定及び準備会社設立に関するお知らせ」のとおり、2021年6月17日に開催予定の第32期定時株主総会の承認及び必要な関係当局の許認可等が得られることを前提として、2021年9月21日を目途に持株会社体制へ移行することが決定しております。大きく変化した市場環境及び事業環境に対応すべく、まずは組織の再編に取り組み、意思決定の迅速化を実現する経営管理体制を再構築し、新たな中期経営計画再策定のための1年としてまいります。

売上高につきましては、当連結会計年度にエクシードシステム株式会社を連結子会社から除外した影響により減少する見込みとなっておりますが、引き続き、各種プロモーションを積極的に行いスキンケア、ヘアケアの伸長に努めてまいります。

販売管理費につきましては、2023年度発売予定の新商品のプロモーション費用、新規採用に伴う人件費、研究開発費等の費用が増加する計画となっております。

以上の結果、連結売上高4,517百万円(当期比7.5%減)、連結営業利益128百万円(当期比56.0%減)、連結経常利益138百万円(当期比57.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益50百万円(当期比64.8%減)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題と考え、業績を勘案し安定した配当を継続的に行うことを基本方針とし、当事業年度の配当金につきましては、期末配当金として1株当たり24円としました。次期の年間配当金は1株当たり24円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間比較可能性及び期間比較可能性等を勘案し、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢及び国内の同業他社の適用動向等を踏まえつつ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当連結会計年度 (2021年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,478,313	1,469,849
売掛金	454,938	385,507
商品及び製品	638,440	625,564
仕掛品	21,532	5,368
原材料及び貯蔵品	76,851	81,515
その他	82,337	159,235
貸倒引当金	△4,606	△3,436
流動資産合計	2,747,807	2,723,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,137,993	1,128,438
機械装置及び運搬具	73,359	67,278
工具、器具及び備品	298,764	283,691
土地	720,678	694,283
リース資産	82,190	67,301
その他	2,175	—
減価償却累計額	△651,458	△661,766
有形固定資産合計	1,663,703	1,579,226
無形固定資産		
ソフトウェア	44,920	65,579
その他	1,264	5,490
無形固定資産合計	46,185	71,069
投資その他の資産		
投資有価証券	526,869	443,432
繰延税金資産	95,314	71,281
保険積立金	100,254	80,303
その他	86,615	133,560
貸倒引当金	△15,962	△6,430
投資その他の資産合計	793,091	722,147
固定資産合計	2,502,980	2,372,443
資産合計	5,250,788	5,096,048

(単位:千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当連結会計年度 (2021年3月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,297	104,169
1年内返済予定の長期借入金	17,755	—
リース債務	12,035	7,934
未払金	236,289	253,897
未払法人税等	9,254	3,675
賞与引当金	104,873	91,108
その他	146,919	86,720
流動負債合計	659,425	547,506
固定負債		
リース債務	16,973	15,030
退職給付に係る負債	43,421	48,003
資産除去債務	15,342	8,857
長期未払金	384,470	384,470
その他	7,174	—
固定負債合計	467,382	456,362
負債合計	1,126,808	1,003,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	759,671	765,630
資本剰余金	731,374	737,334
利益剰余金	2,648,728	2,600,175
自己株式	△5,833	△5,833
株主資本合計	4,133,941	4,097,307
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,388	△4,904
為替換算調整勘定	1,427	△223
その他の包括利益累計額合計	△9,960	△5,128
純資産合計	4,123,980	4,092,179
負債純資産合計	5,250,788	5,096,048

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
売上高	4,674,081	4,885,682
売上原価	1,863,928	1,888,182
売上総利益	2,810,153	2,997,499
販売費及び一般管理費	2,994,772	2,704,565
営業利益又は営業損失(△)	△184,618	292,934
営業外収益		
受取利息	3,816	3,900
受取配当金	24,904	4,801
受取家賃	1,800	1,750
助成金収入	3,576	12,239
為替差益	—	662
貸倒引当金戻入額	—	1,659
雑収入	2,802	9,794
営業外収益合計	36,899	34,807
営業外費用		
支払利息	101	40
為替差損	858	—
貸倒引当金繰入額	9,000	900
雑損失	13	947
営業外費用合計	9,973	1,888
経常利益又は経常損失(△)	△157,692	325,853
特別利益		
投資有価証券売却益	—	35
ゴルフ会員権売却益	—	811
特別利益合計	—	847
特別損失		
固定資産除却損	3,611	1,276
投資有価証券評価損	999	100,079
関係会社株式売却損	—	329
減損損失	—	43,253
その他	—	226
特別損失合計	4,611	145,166
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△162,304	181,534
法人税、住民税及び事業税	12,014	17,334
法人税等調整額	53,609	21,819
法人税等合計	65,624	39,153
当期純利益又は当期純損失(△)	△227,928	142,381
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△227,928	142,381

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△227,928	<u>142,381</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,586	6,484
為替換算調整勘定	△552	△1,651
その他の包括利益合計	△11,138	4,832
包括利益	△239,066	<u>147,214</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△239,066	<u>147,214</u>
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	757,730	729,434	3,067,591	△5,833	4,548,922
当期変動額					
新株の発行	1,940	1,940			3,880
剰余金の配当			△190,934		△190,934
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△227,928		△227,928
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,940	1,940	△418,862	—	△414,981
当期末残高	759,671	731,374	2,648,728	△5,833	4,133,941

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△802	1,979	1,177	4,550,100
当期変動額				
新株の発行				3,880
剰余金の配当				△190,934
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△227,928
連結範囲の変動				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△10,586	△552	△11,138	△11,138
当期変動額合計	△10,586	△552	△11,138	△426,120
当期末残高	△11,388	1,427	△9,960	4,123,980

当連結会計年度(自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	759,671	731,374	2,648,728	△5,833	4,133,941
当期変動額					
新株の発行	5,959	5,959			11,919
剰余金の配当			△191,135		△191,135
親会社株主に帰属する当期純利益			142,381		142,381
連結範囲の変動			201		201
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	5,959	5,959	△48,553	—	△36,633
当期末残高	765,630	737,334	2,600,175	△5,833	4,097,307

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△11,388	1,427	△9,960	4,123,980
当期変動額				
新株の発行				11,919
剰余金の配当				△191,135
親会社株主に帰属する当期純利益				142,381
連結範囲の変動				201
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,484	△1,651	4,832	4,832
当期変動額合計	6,484	△1,651	4,832	△31,800
当期末残高	△4,904	△223	△5,128	4,092,179

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△162,304	<u>181,534</u>
減価償却費	117,597	110,643
株式報酬費用	12,282	2,362
減損損失	—	<u>43,253</u>
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,478	2,455
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,454	<u>△13,765</u>
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,242	4,582
受取利息及び受取配当金	△28,721	△8,702
支払利息	101	40
為替差損益(△は益)	1,094	△742
固定資産除却損	3,611	1,276
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△35
投資有価証券評価損益(△は益)	999	100,079
売上債権の増減額(△は増加)	157,270	△28,111
たな卸資産の増減額(△は増加)	24,044	△12,738
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,052	13,990
その他	20,786	△6,058
小計	140,886	390,064
利息及び配当金の受取額	28,721	8,702
利息の支払額	△101	△40
法人税等の支払額	△137,278	4,383
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,227	403,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,490	△44,892
無形固定資産の取得による支出	△21,273	△40,313
投資有価証券の取得による支出	△101,086	△54
投資有価証券の売却による収入	378,000	36
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△151,203
定期預金の預入による支出	△6,000	—
定期預金の払戻による収入	6,000	6,000
保険積立金の積立による支出	△8,966	△8,926
その他	△8,890	4,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	181,291	△235,190

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	40,000
長期借入金の返済による支出	△20,100	△17,755
リース債務の返済による支出	△13,673	△12,498
株式の発行による収入	3,880	11,919
配当金の支払額	△190,513	△191,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,406	△169,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,654	△826
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,540	△2,463
現金及び現金同等物の期首残高	1,480,853	1,472,313
現金及び現金同等物の期末残高	1,472,313	1,469,849

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

当社の特定子会社かつ完全子会社である株式会社アジュバンコスメティックは、2020年3月21日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当社は、2021年3月1日付で当社の連結子会社であるエクシードシステム株式会社の株式の一部を譲渡し、本株式譲渡の後、当社が保有するエクシードシステム株式会社の株式は議決権を持たない種類株式となりましたので、同社を連結子会社から除外しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「雑収入」に含めていた「助成金収入」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「雑収入」に表示していた6,378千円は、「助成金収入」3,576千円、「雑収入」2,802千円として組み替えております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期など正確に予測することは、困難な状況となっておりますが、当連結会計年度における新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社グループ事業への影響は限定的であったため、将来においても影響は限定的であると仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済環境に変化が生じた場合は、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)		当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)	
1株当たり純資産額	517.83円	1株当たり純資産額	<u>512.18円</u>
1株当たり当期純損失(△)	△28.63円	1株当たり当期純利益	<u>17.83円</u>
潜在株式調整後		潜在株式調整後	
1株当たり当期純利益	－円	1株当たり当期純利益	<u>17.76円</u>

(注) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。また、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△227,928	<u>142,381</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△227,928	<u>142,381</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	7,961,082	7,986,970
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	28,719
(うち新株予約権(株))	(－)	(28,719)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(重要な後発事象)

(会社分割による持株会社体制への移行準備開始決定及び準備会社設立)

当社は、2021年4月6日開催の取締役会において、会社分割の方式により持株会社体制へ移行することを決定し、移行準備として当社100%出資の子会社「株式会社アジュバンコスメジャパン準備会社」(以下「本準備会社」といいます。)を設立することを決議し、2021年4月7日付で本準備会社を設立いたしました。

1. 準備会社設立の目的

当社は、2021年1月22日に公表いたしました「持株会社体制への移行及び監査等委員会設置会社への移行の検討開始に関するお知らせ」のとおり、持株会社体制への移行について検討してまいりましたが、2021年6月17日開催予定の第32期定時株主総会の承認及び必要な関係当局の許認可等が得られることを前提として、持株会社体制へ移行することを決定いたしました。持株会社体制への移行は、会社分割方式とし、本準備会社はその準備の一環として設立するものです。

2. 持株会社体制移行にあたり設立する準備会社の概要

- (1) 商号 株式会社アジュバンコスメジャパン準備会社
- (2) 所在地 神戸市中央区
- (3) 代表者 代表取締役 田中 順子
- (4) 事業内容 化粧品・医薬部外品販売
- (5) 資本金 10百万円
- (6) 設立時期 2021年4月7日
- (7) 発行株式数 2,000株
- (8) 大株主及び出資比率 株式会社アジュバンコスメジャパン 100%

3. 準備会社設立の日程

- 準備会社設立取締役会決議 2021年4月6日
- 準備会社設立 2021年4月7日

4. 本件分割の方式

当社を分割会社とし、当社100%出資の子会社である本準備会社を承継会社とする吸収分割を予定しております。

5. 今後の見通し

承継会社たる本準備会社は、当社の完全子会社であるため、本件分割が当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

(重要な子会社等の設立)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会において、下記のとおり子会社を設立することを決議し、2021年4月7日付で子会社を設立いたしました。

1. 子会社設立の目的

当社は、頭髮用のみならず、眉毛及び睫毛用育毛剤の有用な成分の発見という研究成果を最大限に活用するため、育毛剤市場という新たな事業領域に進出し、直接消費者にお届けすることを目的とした子会社を設立することといたしました。今回の子会社設立により、新たな事業領域に進出することで当社グループの更なる発展を目指すものであります。

2. 設立する子会社の概要

- | | |
|---------------|-----------------------|
| (1) 商号 | 株式会社2C |
| (2) 所在地 | 神戸市中央区 |
| (3) 代表者 | 代表取締役 中川 秀男 |
| (4) 事業内容 | ECによる化粧品・医薬部外品販売 |
| (5) 資本金 | 50百万円 |
| (6) 設立時期 | 2021年4月7日 |
| (7) 発行株式数 | 10,000株 |
| (8) 大株主及び出資比率 | 株式会社アジュバンコスメジャパン 100% |

2021年3月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2021年4月23日
上場取引所 東

上場会社名 株式会社アジュバンコスメジャパン
 コード番号 4929 URL https://www.adjuvant.co.jp/
 代表者 (役職名) 代表取締役会長兼社長 (氏名) 中村 豊
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理本部本部長 (氏名) 中川 秀男 TEL 078-351-3136
 定時株主総会開催予定日 2021年6月17日 配当支払開始予定日 2021年6月18日
 有価証券報告書提出予定日 2021年6月17日
 決算補足説明資料作成の有無：有 (録画配信：有)
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期の連結業績（2020年3月21日～2021年3月20日）

(1) 連結経営成績

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	4,885	4.5	292	—	325	—	174	—
2020年3月期	4,674	△9.5	△184	—	△157	—	△227	—

(注) 包括利益 2021年3月期 179百万円 (—%) 2020年3月期 △239百万円 (—%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2021年3月期	21.86	21.78	4.2	6.3	6.0
2020年3月期	△28.63	—	△5.3	△2.8	△4.0

(参考) 持分法投資損益 2021年3月期 一百万円 2020年3月期 一百万円

(注) 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期	5,128	4,124	80.4	516.21
2020年3月期	5,250	4,123	78.5	517.83

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,124百万円 2020年3月期 4,123百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2021年3月期	403	△235	△169	1,469
2020年3月期	32	181	△220	1,472

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2020年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	191	—	4.4
2021年3月期	—	0.00	—	24.00	24.00	191	109.8	4.6
2022年3月期(予想)	—	0.00	—	24.00	24.00		382.2	

3. 2022年3月期の連結業績予想（2021年3月21日～2022年3月20日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	2,050	△6.6	△31	—	△26	—	△34	—	△4.30
通期	4,517	△7.5	128	△56.0	138	△57.6	50	△71.3	6.28

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：有

除外 1社 (社名) 株式会社アジュバンコスメティック

(注) 詳細は、添付資料15頁「当連結会計年度における重要な子会社の異動」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2021年3月期	7,996,200株	2020年3月期	7,970,400株
2021年3月期	6,403株	2020年3月期	6,403株
2021年3月期	7,986,970株	2020年3月期	7,961,082株

(参考) 個別業績の概要

2021年3月期の個別業績（2020年3月21日～2021年3月20日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期	4,157	4.3	163	—	187	—	△221	—
2020年3月期	3,987	△13.0	△152	—	△98	—	△101	—

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期	△27.72	—
2020年3月期	△12.77	—

(注) 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	百万円	百万円	百万円	%	円 銭	円 銭	
2021年3月期	5,145	4,145	4,145	80.6	518.86			
2020年3月期	5,458	4,541	4,541	83.2	570.22			

(参考) 自己資本 2021年3月期 4,145百万円 2020年3月期 4,541百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料5頁「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

(決算補足説明資料の入手方法)

当社は、2021年4月26日（月）にアナリスト向け説明会を開催する予定です。

その模様及び説明内容（音声）については、当日使用する決算補足説明資料とともに、開催後速やかに当社ウェブサイトに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	3
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	4
(4) 今後の見通し	5
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当	5
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	6
3. 連結財務諸表及び主な注記	7
(1) 連結貸借対照表	7
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	9
連結損益計算書	9
連結包括利益計算書	10
(3) 連結株主資本等変動計算書	11
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	13
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	15
(継続企業の前提に関する注記)	15
(当連結会計年度における重要な子会社の異動)	15
(表示方法の変更)	15
(追加情報)	15
(セグメント情報)	15
(1株当たり情報)	16
(重要な後発事象)	16

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響により、個人消費及び企業収益の悪化など厳しい状況で推移しました。緊急事態宣言解除後は、段階的に経済活動を再開しましたが、新型コロナウイルス感染症の再拡大が懸念されており、引き続き国内外の動向に留意が必要な状況です。

美容業界におきましても、上記の影響により消費活動や生活スタイルが変化したこともあり、スキンケア商品の需要が戻らず、サロン※注1経営において厳しい環境が続いており、当社商品を販売するアジュバンサロン※注2においても同様の影響がありました。

このような状況のもと、当社グループは、2021年3月期の営業テーマを「顧客の創造・関係性の強化」とし、営業方針を「年間販促計画の策定と実行」「カウンセリングの知識・技術の習得」「アフターフォローの習慣化」「顧客分析の徹底」として掲げ、引き続きサロンの安定した経営サポートを目指しております。

新型コロナウイルス感染症の感染予防及び感染拡大防止に関しましては、当社が定めた「新型コロナウイルスに関する指針」を遵守し、感染拡大の防止に十分注意しながら営業活動に取り組んでおります。

研究開発活動におきましては2020年11月に国立研究開発法人理化学研究所との共同研究チームが、化粧品で利用されている特定の機能性ペプチドに毛髪促進効果を有することを学会にて発表いたしました。

売上高につきましては、スキンケア商品の需要の減少もありましたが新しいヘアケアブランドの投入効果もあり、当連結会計年度の売上高は4,885百万円（前期比4.5%増）となりました。詳細は区分別売上高の概要をご参照ください。なお、アジュバンサロン登録軒数につきましては、当連結会計年度末で8,396軒（前期末比601軒増）となりました。

利益面におきましては、新商品の投入効果による売上の増加及び人件費、旅費交通費等の減少、サロン様向けの全国イベント開催の延期による販促費の減少により、営業利益292百万円（前期は営業損失184百万円）、経常利益325百万円（前期は経常損失157百万円）となりました。第2四半期連結会計期間に特別損失として投資有価証券評価損100百万円を計上しましたが、親会社株主に帰属する当期純利益は174百万円（前期は親会社株主に帰属する当期純損失227百万円）となりました。

区分別売上高は、売上割戻金を含めて次のとおりであります。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
スキンケア	1,797	38.5	1,567	32.1	△229	△12.8
ヘアケア	2,327	49.8	2,725	55.8	397	17.1
その他	884	18.9	923	18.9	39	4.5
売上割戻金	△335	△7.2	△331	△6.8	4	—
合計	4,674	100.0	4,885	100.0	211	4.5

(注) 1. ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED（連結子会社）及びエクシードシステム株式会社の売上高は、「その他」に含んでおります。なお、当社は、2021年3月1日付で当社の連結子会社であるエクシードシステム株式会社の株式の一部を譲渡し、本株式譲渡の後、当社が保有するエクシードシステム株式会社の株式は議決権を持たない種類株式となりましたので、同社を連結子会社から除外しております。

2. 売上割戻金は、商品ごとではなく売上高の合計を基準として割戻率を設定しているため、区分ごとに配賦せず合計額で表示しております。

国内海外別売上高は、次のとおりであります。

区分	前連結会計年度		当連結会計年度		増減額 金額（百万円）	増減率 （%）
	金額（百万円）	構成比（%）	金額（百万円）	構成比（%）		
国内売上高	4,438	95.0	4,686	95.9	247	5.6
海外売上高	235	5.0	199	4.1	△36	△15.4
合計	4,674	100.0	4,885	100.0	211	4.5

当社グループは、単一セグメントであるためセグメント別の記載はしていませんが、区分別売上高の概要は以下のとおりであります。

(スキンケア)

スキンケア商品の売上高は、マスク着用の日常化、外出自粛によりスキンケア商品の需要が減少しており、全体的に前期を下回る結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は1,567百万円(前期比12.8%減)となりました。

(ヘアケア)

ヘアケア商品の売上高は、新商品である「KASUI(カスイ)」※注3の投入効果もあり、前期を上回る結果となりました。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は2,725百万円(前期比17.1%増)となりました。

(その他)

エクシードシステム株式会社の売上高は、国内のサロンアンサーシステム※注4の導入件数が、当連結会計年度末において1,613件と堅調に推移した結果、増加いたしました。

ADJUVANT HONG KONG COMPANY LIMITED(連結子会社)の海外売上高は、新型コロナウイルス感染症の影響に伴い減少しております。

なお、エクシードシステム株式会社におきましては保有していた株式を一部譲渡いたしました結果、連結子会社から除外しております。

以上の結果、当連結会計年度の売上高は923百万円(前期比4.5%増)となりました。

※注1「サロン」

理美容室・エステティックサロン・ネイルサロン・アイラッシュサロン・美容クリニック等を指します。

※注2「アジュバンサロン」

初回に100千円以上の仕入を行い、当社グループが指導する商品の案内方法等を定めたアジュバンサロン契約を締結したサロンを指します。

※注3「KASUI(カスイ)」

国立研究開発法人理化学研究所との共同研究により機能性成分を見出し、その後当社にて処方した新ヘアケアブランドであります。

※注4「サロンアンサーシステム」

エクシードシステム株式会社が販売する、クラウド型経営サポート(サロンの顧客管理、経営分析)システムを指します。

(2) 当期の財政状態の概況

当連結会計年度末の総資産は、前連結会計年度末と比較して122百万円減少の5,128百万円となりました。

流動資産は、前連結会計年度末と比較して24百万円減少の2,723百万円となりました。主な変動要因は、売掛金の減少69百万円、商品及び製品の減少12百万円、仕掛品の減少16百万円、前渡金等による流動資産のその他の増加76百万円によるものであります。

固定資産は、前連結会計年度末と比較して98百万円減少の2,404百万円となりました。主な変動要因は、減損処理などによる投資有価証券の減少83百万円によるものであります。

流動負債は、前連結会計年度末と比較して111百万円減少の547百万円となりました。主な変動要因は買掛金の減少28百万円、1年内返済予定の長期借入金の減少17百万円、賞与引当金の減少13百万円によるものであります。

固定負債は、前連結会計年度末と比較して11百万円減少の456百万円となりました。主な変動要因は、資産除去債務の減少6百万円によるものであります。

純資産は、前連結会計年度末と比較して0百万円増加の4,124百万円となりました。主な変動要因は、親会社株主に帰属する当期純利益による増加174百万円、配当金の支払による減少191百万円によるものであります。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末の78.5%から80.4%となりました。1株当たり純資産額は、前連結会計年度末517.83円から516.21円となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という)は営業活動で獲得した資金を主に子会社株式の売却による支出、配当金の支払等で使用した結果、前連結会計年度末に比べて2百万円減少し、当連結会計年度末残高は1,469百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は403百万円(前期比370百万円増)となりました。これは主に税金等調整前当期純利益213百万円の計上、減価償却費の計上110百万円、投資有価証券評価損の計上100百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は235百万円(前期は181百万円の収入)となりました。これは主に有形固定資産の取得による支出44百万円、無形固定資産の取得による支出40百万円、エクシードシステム株式会社の株式譲渡による連結範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出151百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は169百万円(前期比50百万円減)となりました。これは主に長期借入金の返済による支出17百万円、配当金の支払額191百万円によるものであります。

(参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2017年3月期	2018年3月期	2019年3月期	2020年3月期	2021年3月期
自己資本比率(%)	78.5	79.4	77.5	78.5	<u>80.4</u>
時価ベースの自己資本比率(%)	127.9	142.3	129.3	136.5	<u>177.9</u>
キャッシュ・フロー対有利子負債比率(年)	0.5	0.2	0.8	1.5	0.1

自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

(注) 1. いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。

2. 株式時価総額は発行済株式数をベースに計算しております。

3. キャッシュ・フローは、連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

4. 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を利用しております。

5. インタレスト・カバレッジ・レシオは、利息の支払額に重要性がないため記載しておりません。

(4) 今後の見通し

次期につきましては、新型コロナウイルス感染症の影響による経済活動停滞の影響により、先行き不透明な状況であることから、サロン経営にとっても厳しい環境が続くと予想されます。

2021年1月22日公表の「中期経営計画の取り下げに関するお知らせ」のとおり、中期経営計画を取り下げ、現在再策定中であります。その一環として2021年4月6日公表の「会社分割による持株会社体制への移行準備開始決定及び準備会社設立に関するお知らせ」のとおり、2021年6月17日に開催予定の第32期定時株主総会の承認及び必要な関係当局の許認可等が得られることを前提として、2021年9月21日を目途に持株会社体制へ移行することが決定しております。大きく変化した市場環境及び事業環境に対応すべく、まずは組織の再編に取り組み、意思決定の迅速化を実現する経営管理体制を再構築し、新たな中期経営計画再策定のための1年としてまいります。

売上高につきましては、当連結会計年度にエクシードシステム株式会社を連結子会社から除外した影響により減少する見込みとなっておりますが、引き続き、各種プロモーションを積極的に行いスキンケア、ヘアケアの伸長に努めてまいります。

販売管理費につきましては、2023年度発売予定の新商品のプロモーション費用、新規採用に伴う人件費、研究開発費等の費用が増加する計画となっております。

以上の結果、連結売上高4,517百万円(当期比7.5%減)、連結営業利益128百万円(当期比56.0%減)、連結経常利益138百万円(当期比57.6%減)、親会社株主に帰属する当期純利益50百万円(当期比71.3%減)を見込んでおります。

(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は、株主に対する利益還元を経営の重要課題と考え、業績を勘案し安定した配当を継続的に行うことを基本方針とし、当事業年度の配当金につきましては、期末配当金として1株当たり24円としました。次期の年間配当金は1株当たり24円を予定しております。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の企業間比較可能性及び期間比較可能性等を勘案し、当面は日本基準に基づいて連結財務諸表を作成する方針であります。

IFRS（国際財務報告基準）の適用につきましては、国内外の諸情勢及び国内の同業他社の適用動向等を踏まえつつ、適切に対応していく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当連結会計年度 (2021年3月20日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,478,313	1,469,849
売掛金	454,938	385,507
商品及び製品	638,440	625,564
仕掛品	21,532	5,368
原材料及び貯蔵品	76,851	81,515
その他	82,337	159,235
貸倒引当金	△4,606	△3,436
流動資産合計	2,747,807	2,723,604
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	1,137,993	1,128,438
機械装置及び運搬具	73,359	67,278
工具、器具及び備品	298,764	283,691
土地	720,678	726,478
リース資産	82,190	67,301
その他	2,175	—
減価償却累計額	△651,458	△661,766
有形固定資産合計	1,663,703	1,611,421
無形固定資産		
ソフトウェア	44,920	65,579
その他	1,264	5,490
無形固定資産合計	46,185	71,069
投資その他の資産		
投資有価証券	526,869	443,432
繰延税金資産	95,314	71,281
保険積立金	100,254	80,303
その他	86,615	133,560
貸倒引当金	△15,962	△6,430
投資その他の資産合計	793,091	722,147
固定資産合計	2,502,980	2,404,638
資産合計	5,250,788	5,128,243

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2020年3月20日)	当連結会計年度 (2021年3月20日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	132,297	104,169
1年内返済予定の長期借入金	17,755	—
リース債務	12,035	7,934
未払金	236,289	253,897
未払法人税等	9,254	3,675
賞与引当金	104,873	91,108
その他	146,919	86,720
流動負債合計	659,425	547,506
固定負債		
リース債務	16,973	15,030
退職給付に係る負債	43,421	48,003
資産除去債務	15,342	8,857
長期未払金	384,470	384,470
その他	7,174	—
固定負債合計	467,382	456,362
負債合計	1,126,808	1,003,868
純資産の部		
株主資本		
資本金	759,671	765,630
資本剰余金	731,374	737,334
利益剰余金	2,648,728	2,632,370
自己株式	△5,833	△5,833
株主資本合計	4,133,941	4,129,502
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△11,388	△4,904
為替換算調整勘定	1,427	△223
その他の包括利益累計額合計	△9,960	△5,128
純資産合計	4,123,980	4,124,374
負債純資産合計	5,250,788	5,128,243

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
売上高	4,674,081	4,885,682
売上原価	1,863,928	1,888,182
売上総利益	2,810,153	2,997,499
販売費及び一般管理費	2,994,772	2,704,565
営業利益又は営業損失(△)	△184,618	292,934
営業外収益		
受取利息	3,816	3,900
受取配当金	24,904	4,801
受取家賃	1,800	1,750
助成金収入	3,576	12,239
為替差益	—	662
貸倒引当金戻入額	—	1,659
雑収入	2,802	9,794
営業外収益合計	36,899	34,807
営業外費用		
支払利息	101	40
為替差損	858	—
貸倒引当金繰入額	9,000	900
雑損失	13	947
営業外費用合計	9,973	1,888
経常利益又は経常損失(△)	△157,692	325,853
特別利益		
投資有価証券売却益	—	35
ゴルフ会員権売却益	—	811
特別利益合計	—	847
特別損失		
固定資産除却損	3,611	1,276
投資有価証券評価損	999	100,079
関係会社株式売却損	—	329
減損損失	—	11,058
その他	—	226
特別損失合計	4,611	112,971
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△162,304	213,729
法人税、住民税及び事業税	12,014	17,334
法人税等調整額	53,609	21,819
法人税等合計	65,624	39,153
当期純利益又は当期純損失(△)	△227,928	174,576
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)	△227,928	174,576

(連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
当期純利益又は当期純損失(△)	△227,928	<u>174,576</u>
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△10,586	6,484
為替換算調整勘定	△552	△1,651
その他の包括利益合計	△11,138	4,832
包括利益	△239,066	<u>179,409</u>
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	△239,066	<u>179,409</u>
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	757,730	729,434	3,067,591	△5,833	4,548,922
当期変動額					
新株の発行	1,940	1,940			3,880
剰余金の配当			△190,934		△190,934
親会社株主に帰属する当期純損失(△)			△227,928		△227,928
連結範囲の変動					—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	1,940	1,940	△418,862	—	△414,981
当期末残高	759,671	731,374	2,648,728	△5,833	4,133,941

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△802	1,979	1,177	4,550,100
当期変動額				
新株の発行				3,880
剰余金の配当				△190,934
親会社株主に帰属する当期純損失(△)				△227,928
連結範囲の変動				—
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△10,586	△552	△11,138	△11,138
当期変動額合計	△10,586	△552	△11,138	△426,120
当期末残高	△11,388	1,427	△9,960	4,123,980

当連結会計年度(自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	759,671	731,374	2,648,728	△5,833	4,133,941
当期変動額					
新株の発行	5,959	5,959			11,919
剰余金の配当			△191,135		△191,135
親会社株主に帰属する当期純利益			174,576		174,576
連結範囲の変動			201		201
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	5,959	5,959	△16,358	—	△4,438
当期末残高	765,630	737,334	2,632,370	△5,833	4,129,502

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	△11,388	1,427	△9,960	4,123,980
当期変動額				
新株の発行				11,919
剰余金の配当				△191,135
親会社株主に帰属する当期純利益				174,576
連結範囲の変動				201
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	6,484	△1,651	4,832	4,832
当期変動額合計	6,484	△1,651	4,832	394
当期末残高	△4,904	△223	△5,128	4,124,374

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失(△)	△162,304	<u>213,729</u>
減価償却費	117,597	110,643
株式報酬費用	12,282	2,362
減損損失	—	<u>11,058</u>
貸倒引当金の増減額(△は減少)	6,478	2,455
賞与引当金の増減額(△は減少)	1,454	△13,765
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	3,242	4,582
受取利息及び受取配当金	△28,721	△8,702
支払利息	101	40
為替差損益(△は益)	1,094	△742
固定資産除却損	3,611	1,276
投資有価証券売却損益(△は益)	—	△35
投資有価証券評価損益(△は益)	999	100,079
売上債権の増減額(△は増加)	157,270	△28,111
たな卸資産の増減額(△は増加)	24,044	△12,738
仕入債務の増減額(△は減少)	△17,052	13,990
その他	20,786	△6,058
小計	140,886	390,064
利息及び配当金の受取額	28,721	8,702
利息の支払額	△101	△40
法人税等の支払額	△137,278	4,383
営業活動によるキャッシュ・フロー	32,227	403,108
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△56,490	△44,892
無形固定資産の取得による支出	△21,273	△40,313
投資有価証券の取得による支出	△101,086	△54
投資有価証券の売却による収入	378,000	36
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による支出	—	△151,203
定期預金の預入による支出	△6,000	—
定期預金の払戻による収入	6,000	6,000
保険積立金の積立による支出	△8,966	△8,926
その他	△8,890	4,164
投資活動によるキャッシュ・フロー	181,291	△235,190

(単位:千円)

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入れによる収入	—	40,000
長期借入金の返済による支出	△20,100	△17,755
リース債務の返済による支出	△13,673	△12,498
株式の発行による収入	3,880	11,919
配当金の支払額	△190,513	△191,220
財務活動によるキャッシュ・フロー	△220,406	△169,555
現金及び現金同等物に係る換算差額	△1,654	△826
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△8,540	△2,463
現金及び現金同等物の期首残高	1,480,853	1,472,313
現金及び現金同等物の期末残高	1,472,313	1,469,849

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(当連結会計年度における重要な子会社の異動)

当社の特定子会社かつ完全子会社である株式会社アジュバンコスメティックは、2020年3月21日付で当社を存続会社とする吸収合併により消滅したため、当連結会計年度より連結の範囲から除外しております。

また、特定子会社の異動には該当していませんが、当社は、2021年3月1日付で当社の連結子会社であるエクシードシステム株式会社の株式の一部を譲渡し、本株式譲渡の後、当社が保有するエクシードシステム株式会社の株式は議決権を持たない種類株式となりましたので、同社を連結子会社から除外しております。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書)

前連結会計年度において、「営業外収益」の「雑収入」に含めていた「助成金収入」は、営業外収益の総額の100分の10を超えたため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」の「雑収入」に表示していた6,378千円は、「助成金収入」3,576千円、「雑収入」2,802千円として組み替えております。

(追加情報)

(新型コロナウイルス感染症の感染拡大に伴う会計上の見積りについて)

当社グループでは、固定資産の減損会計や繰延税金資産の回収可能性等の会計上の見積りについて、連結財務諸表作成時において入手可能な情報に基づき実施しております。

新型コロナウイルス感染症の収束時期など正確に予測することは、困難な状況となっておりますが、当連結会計年度における新型コロナウイルス感染症の感染拡大による当社グループ事業への影響は限定的であったため、将来においても影響は限定的であると仮定し、会計上の見積りを行っております。

なお、新型コロナウイルス感染症の感染拡大による経済環境に変化が生じた場合は、当社グループの財政状態及び経営成績に影響を及ぼす可能性があります。

(セグメント情報)

当社グループは、アジュバン化粧品の商品企画、研究開発、販売及びこれに附帯するサービス業務を営む単一セグメントであるため、セグメント別の記載を省略しております。

(1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)		当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)	
1株当たり純資産額	517.83円	1株当たり純資産額	<u>516.21円</u>
1株当たり当期純損失(△)	△28.63円	1株当たり当期純利益	<u>21.86円</u>
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	－円	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	<u>21.78円</u>

(注) 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失及び潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。また、前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式は存在するものの1株当たり当期純損失であるため記載しておりません。

	前連結会計年度 (自 2019年3月21日 至 2020年3月20日)	当連結会計年度 (自 2020年3月21日 至 2021年3月20日)
1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△227,928	<u>174,576</u>
普通株主に帰属しない金額(千円)	－	－
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失(△)(千円)	△227,928	<u>174,576</u>
普通株式の期中平均株式数(株)	7,961,082	7,986,970
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益調整額(千円)	－	－
普通株式増加数(株)	－	28,719
(うち新株予約権(株))	(－)	(28,719)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	－	－

(重要な後発事象)

(会社分割による持株会社体制への移行準備開始決定及び準備会社設立)

当社は、2021年4月6日開催の取締役会において、会社分割の方式により持株会社体制へ移行することを決定し、移行準備として当社100%出資の子会社「株式会社アジュバンコスメジャパン準備会社」(以下「本準備会社」といいます。)を設立することを決議し、2021年4月7日付で本準備会社を設立いたしました。

1. 準備会社設立の目的

当社は、2021年1月22日に公表いたしました「持株会社体制への移行及び監査等委員会設置会社への移行の検討開始に関するお知らせ」のとおり、持株会社体制への移行について検討してまいりましたが、2021年6月17日開催予定の第32期定時株主総会の承認及び必要な関係当局の許認可等が得られることを前提として、持株会社体制へ移行することを決定いたしました。持株会社体制への移行は、会社分割方式とし、本準備会社はその準備の一環として設立するものです。

2. 持株会社体制移行にあたり設立する準備会社の概要

- (1) 商号 株式会社アジュバンコスメジャパン準備会社
- (2) 所在地 神戸市中央区
- (3) 代表者 代表取締役 田中 順子
- (4) 事業内容 化粧品・医薬部外品販売
- (5) 資本金 10百万円
- (6) 設立時期 2021年4月7日
- (7) 発行株式数 2,000株
- (8) 大株主及び出資比率 株式会社アジュバンコスメジャパン 100%

3. 準備会社設立の日程

- 準備会社設立取締役会決議 2021年4月6日
- 準備会社設立 2021年4月7日

4. 本件分割の方式

当社を分割会社とし、当社100%出資の子会社である本準備会社を承継会社とする吸収分割を予定しております。

5. 今後の見通し

承継会社たる本準備会社は、当社の完全子会社であるため、本件分割が当社の連結業績に与える影響は軽微であります。

(重要な子会社等の設立)

当社は、2021年2月12日開催の取締役会において、下記のとおり子会社を設立することを決議し、2021年4月7日付で子会社を設立いたしました。

1. 子会社設立の目的

当社は、頭髮用のみならず、眉毛及び睫毛用育毛剤の有用な成分の発見という研究成果を最大限に活用するため、育毛剤市場という新たな事業領域に進出し、直接消費者にお届けすることを目的とした子会社を設立することといたしました。今回の子会社設立により、新たな事業領域に進出することで当社グループの更なる発展を目指すものであります。

2. 設立する子会社の概要

(1) 商号	株式会社2C
(2) 所在地	神戸市中央区
(3) 代表者	代表取締役 中川 秀男
(4) 事業内容	ECによる化粧品・医薬部外品販売
(5) 資本金	50百万円
(6) 設立時期	2021年4月7日
(7) 発行株式数	10,000株
(8) 大株主及び出資比率	株式会社アジュバンコスメジャパン 100%